

日本レジャー・レクリエーション学会 第34回学会大会開催要項

大会テーマ「21世紀グローバル社会に向けた学会発展のビジョンと戦略を考える」

1. 主 催：日本レジャー・レクリエーション学会
2. 主 管：日本レジャー・レクリエーション学会第34回学会大会実行委員会
3. 期 日：平成16年12月3日(金)・4日(土)・5日(日)
4. 会 場：立教大学池袋キャンパス

〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-34-1

5. 日 程

第1日目 12月3日(金)

- 13:00~13:10 受付(鍛冶橋駐車場:JR東京駅八重洲南口から徒歩5分)
- 13:10~13:20 開会挨拶 坂口正治(学会副会長)
- 13:20~17:00 地域研究 テーマ『都市レジャーの今昔』
(Ⅰ)都市再生とレジャー空間(六本木ヒルズ)
(Ⅱ)江戸の娯楽とライフスタイル(江戸東京博物館)

第2日目 12月4日(土)

- 11:00~12:00 理事会(立教大学第一食堂二階「藤だな」)
- 12:00~ 受付(7102教室前)
- 13:00~13:15 会長挨拶 油井正昭(日本レジャー・レクリエーション学会会長)
- 挨拶 押見輝男(立教大学総長)
- 13:15~14:15 特別講演(7102教室)
「サッカーからみた21世紀のスポーツビジョンと戦略」
田嶋幸三(財団法人日本サッカー協会技術委員長)
- 14:20~15:05 基調講演
「始動した21世紀において学会に求められる役割」
藁茂寿太郎(東京農業大学副学長 改革推進担当;日本造園学会副会長)
- 15:10~16:30 パネルディスカッション
「21世紀の学会発展のビジョンと戦略を考える」
コーディネーター:麻生 恵(東京農業大学)
パネリスト
○日本レジャー・レクリエーション学会のこれまでの取り組みから 鈴木秀雄(関東学院大学;学会副会長)
○国際化の動きと国際化への対応から
○産業界、行政等との連携から

16:40~18:30 ワークショップ

①セラピューティックレクリエーション専門分科会

テーマ：要介護予防運動指導におけるセラピューティックエクササイズの意味と意義

～今年度(2004年)から始動した要介護予防運動指導者養成及び資格認定制度をめぐって～

話題提供者：鈴木秀雄（関東学院大学）

（10号館304教室）

②「景観・造園・環境系」及び「レジャー・レクリエーション産業系」の合同開催

テーマ：レクリエーション資源空間と産業に関わる研究の今後の取り組みを考える

コーディネーター：栗田和弥（東京農業大学）

嵯峨 寿（筑波大学）

（10号館305教室）

③公募ワークショップ

テーマ：個別プログラムとケースワークの実践

コーディネーター：吉岡尚美（東海大学）

話題提供者：茅野宏明（武庫川女子大学）ほか

（10号館306教室）

18:40~20:10 懇親会（立教大学第一食堂二階「藤だな」）

第3日目 12月5日（日）

8:30~ 受付（7102教室前）

9:00~10:00 研究発表 A会場（7101教室）≪3演題≫

B会場（7102教室）≪3演題≫

10:05~11:05 研究発表 A会場（7101教室）≪2演題≫

B会場（7102教室）≪3演題≫

11:10~11:50 研究発表 A会場（7101教室）≪2演題≫

B会場（7102教室）≪2演題≫

12:30~13:00 オルガンコンサート（チャペル）

13:10~14:10 総会（7102教室）

14:10~15:10 研究発表 A会場（7101教室）≪3演題≫

B会場（7102教室）≪3演題≫

15:15~16:15 研究発表 A会場（7101教室）≪2演題≫

B会場（7102教室）≪3演題≫